



三春台・清水ヶ丘地域にバス路線を みんなの希望が一步前進!



「三春台・清水ヶ丘地域にバスを」と運動している人達に、横浜市都市整備局から嬉しい話が飛び込んできました。横浜市が市内12カ所でデマンドバスの実証運行を3年間実施します。そこにこの地域が選ばれました!起伏にとんだ南区には急傾斜地が多く、買い物や通院などの外出が大変な地域が多数あります。三春台・清水ヶ丘地域もそうです。

バスが1時間1本になってしまう!

聖隷病院を通過して桜木町や西口に向かうバスは、2ルートで1時間1本ずつ2本走っていました。それが2012年暮れに突然「浜4系統を廃止する。地元説明会はしない」と通告されました。怒った地元自治会や住民が説明会の開催を求め、当日は250人が参加しました。「1時間1本なんて、少なすぎる」との地元要求は聞き入れられず、浜4系統バスは廃止されました。



説明会後の2013年

「三春台・清水ヶ丘地域ワゴンバスを走らせる市民協議会」結成

説明会開催を求めた住民有志や賛同する町内会で会を結成。横浜市地域まちづくりグループにも登録して活動。2018年バス問題のアンケートを作成し、関係地域に3000枚配布。

アンケート結果

約5割回収。移動手段に困っている73.6%。「今は車で外出するから困っていない人も、高齢で運転できなくなれば困る」と会では分析。



市では、乗用車タイプのデマンドバスでの実証運行を考えています。

デマンドバス：電話予約等、利用者のニーズに応じて、柔軟な運行を行う公共交通の1つの形態

会の粘り強い運動と、アンケート結果が実証運行の決め手!

あらうきのほやき

確定申告のために、源泉徴収票、社会保険料や各種保険料の控除証明書などを揃えて申告用紙に書き込んでみると、自民党議員の使っていたパーティ券売り上げ金額や官房機密費は、とんでもない金額だと腹が立ちます。官房機密費は私たちが納めている税金です。そのお金が私腹を肥やすために使われている、しかも課税されないとしたら、さらに納得できません。確定申告用紙に「こんな税金の使い方は止めて」と書いて提出したい!



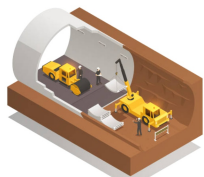
横浜市の新年度予算

— その特徴と南区に関する事業 —

上瀬谷跡地に自動運転バスが走る!?



「瀬谷駅と上瀬谷通信施設跡地を2キロのトンネルを掘ってつなぎ、その地下道に連節バスを走らせる」地下化は周辺道路の混雑を回避するためです。しかも現地で27年開催の国際園芸博覧会のためではなく、「その後に開業予定の大型テーマパークの来場手段確保のため」という構想が発表されました。概算の事業費は466億円。園芸博の閉幕後に着工し、30年代前半に開業予定。専用道路などのインフラ整備は市が実施し、バスの運行は民間事業者にとという構想です。



この地域の交通手段については横浜シーサイドラインが、テーマパーク構想は相模鉄道が、採算性を見込めないと撤退しています。

出産費用の助成

出産育児一時金(48.8万円)に加え、横浜市が独自に9万円を助成することで、公的病院における出産費用(基礎的費用)の最大値57.6万円までカバーします。



市民の安心・安全

能登半島地震被災地の復旧・復興が進むよう支援に取り組みます。地震等の災害に対し、市民の安心・安全を守る「地震防災対策強化パッケージ」を推進します。

地域の総合的な移動サービス検討費

地域の総合的な移動サービスの調査・検討、新たな移動サービスの導入検討・実証実験。デマンドバス実証運行が、ここに含まれます。

六ツ川中央公園の整備

六ツ川中央公園拡張部の整備促進に1,500万円。公園拡張部の広場整備等に向けて実施設計を行います。公園整備は地元からの要望が沢山寄せられていました。



ところで、横浜市の予算総計額は? 3兆8,345億円!

一般会計1兆9,156億円・特別会計1兆3,079億円・公営企業会計6,110億円

日本共産党横浜市議団は、市民の暮らしを支える施策により多くの予算が充てられるように、問題点の指摘や抜本的な見直し提案を行っていきます。

市議団ゴレンジャー →

